



~しよう

Collaboration
コラボレーション
(共同、協働)

みんなで
男女共同参画社会実現に向けて
活動しようよ!

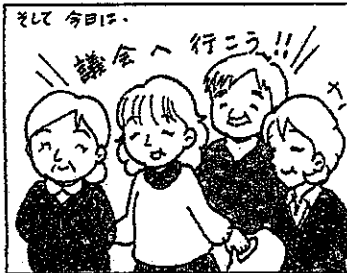
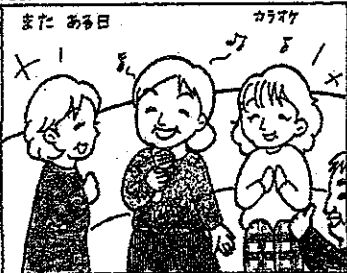
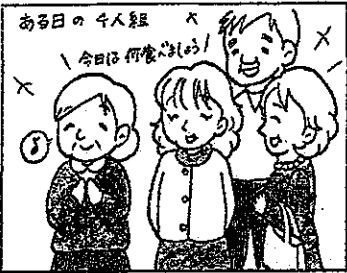
第24号 2013・春

~目次~

- ★ 私達の三木市議会本会議を傍聴しませんか
人生初体験！議会を傍聴して
- ★ セミナー報告「お母さんのためのリラックス講座」
相談室から「あなた自身をねぎらってみませんか」
- ★ 「親子で絵本カフェ」のスタッフさんを紹介します
利用しませんか！ 図書・情報コーナー



♪～私達の三木市議会本会議を傍聴しませんか！～♪♪



本会議のラジオ中継を聴いたり、インターネットでの録画を見る人はいますが、三木市議会を傍聴したことがある人はそんなに多くないように思います。定例の市議会は年に4回。平成25年3月を例にとると会期は27日間で、本会議は5日間ですが、議会運営委員会、総務建設常任委員会、民生産業常任委員会等も開かれていました。

納税者である私達は、自分達の大切な税金の使い道や、町の方向性を決める大事な会議にもっと関心を持ちましょう。折しも3月に、議会を市民により分かりやすく、内容のある議論ができる仕組みを作るために、議会基本条例が制定されました。

まずは本会議を傍聴するために、本会議の開かれる日時を調べ、市役所の8階にある本会議場へ足を運んでみませんか。傍聴席は50席あり、だれでも本会議を見たり聞いたりすることができます。一人ひとりの行政への関心が私たちの暮らしを守ることにつながります。

人生初体験！議会を傍聴して
～できることから始めよう～

市の庁舎が完成した時の見学会で入って以来、議会が開かれている議場を見るのは初めてでした。8階のロビーに「定例市議会の質疑・一般質問」等の資料が置いてあるのを1部頂き、「傍聴受付名簿」に記入して手続き完了。いざ！議場へ！少し緊張して中に入ると、目の前にテレビのニュースの1シーンのような場面が飛び込んできました。議場の中央に「議長」、両サイドには市長をはじめ三木市の幹部の方たち。残念ながら議員席の真上に傍聴席があるために議員さん達の様子がよく見えない。

「只今より・・・」議長の発声で議会が始まり、質問、答弁が繰り返される事2時間。資料に目を通しながら登壇者の声に耳を傾けましたが、議会の傍聴は初めてであり、質問の内容が分かりにくい部分もありました。体温の感じられる「議論」を期待していたのに・・・自分にとっては、何となく不完全燃焼気味で議場を後にしました。市民にとって生活に直接かわかる大事な事が審議されているはずなのに、今まで如何に無関心でいたのかを猛反省。せめて、我が家に届く「みき市議会だより」をきちんと読もうと思いました。



☆議会報告会が開催されます☆

3月議会の結果は、「議会報告会」で報告されます。市会議員18名が3班に分かれて市内3か所の会場へ出向き、補正予算等の審議内容や議会基本条例についての説明をします。事前の申し込みは必要ありませんので、ちょっとのぞいてみましょう。

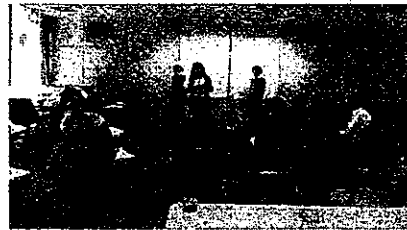
☆ ☆ ☆

日時	会場
4月23日(火) 午後7時30分～9時	教育センター
	緑が丘町公民館
	口吉川町公民館

お母さんのためのリラックス講座 ～自分の感じ方や考え方に気づく時間を持ちませんか？～

3回シリーズで行われたセミナーの最後の1回に参加してきました。講師は三木市女性問題相談員の片倉佐知子さんと神戸大学HCセンターKANADEの2人の女性でした。このセミナーは保育付ということもあり、若いお母さんたちの参加が多かったです。最初に、参加者同士が自分を表現するための遊びを一つしました。体を使うことでみんながお互いに親しくなったように感じました。このウォーミングアップが終わると次は頭を使うこと。4人の女性の生き方を紹介した資料を読み、「その生き方でいやな順番に並べ、理由を書く」という作業を各自で行い、そのあと

の意見を受け入れる」というのを繰り返すことで、各個人の気持ちがゆれ動きながら意見がまとまっていきました。各グループの発表では、グループによって「いやな順番や理由」が違っていったことは驚きでした。



これで何が分かったかということ、人はみんな世間の中の自分を背負って生きているということ、今の自分の思い込みがどんなものであるか、それが他人から見ていいか悪いかではなく、人はみんな違う考えを持っているということです。

参加者は「自分自身がこんな意見をもっているんだということを見え、自分も他人も認められる気がする」と喜んでいました。「このような機会がもっと欲しい」などの感想もありました。



に3～4人のグループで時間を決めて話し合い、まとめていきました。多数決という手段はなく話し合いでしか決められません。とにかく話すしかないので。初対面の人同士でも「意見を言い、他人

あなた自身をねぎらってみませんか

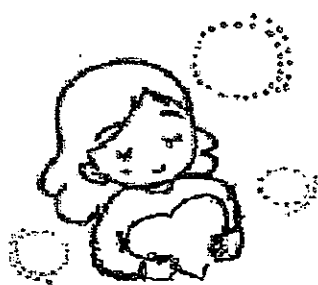
女性のための相談室から

人間関係が苦手、他人が怖い、生きづらいと悩む相談者から、「子どもの頃に親からいつも殴られたり蹴られたりした」とか、「親からほめられたことが一度もなかった」「男の子だったら・・・と聞いて悲しかった」などの言葉を聴くことが少なくありません。これまでの相談活動を通して、他の子どもと比較されないこと、親や周囲の大人から、ありのままを認められ受容されることが、どれほど子どもの健やかな成長に大切かをつくづく感じています。実際、自己肯定感が高い人ほど、他人と良い関係を築け、自信を持って行動することができるからです。

さて、皆さんの子ども時代はどうだったでしょうか？「ああ、自分も親から否定ばかりされて育った」「自分がだめなのは親のせいだ」と暗い気分になる人もいるかも知れませんね。でも、がっかりすることはありません。実は最近の研究から、子どもの人格形成にとって親の影響は4割に過ぎず、子どもは成長過程で、親以外の大人、友だちや先輩、そしてすてきな本などに出会って、たくさんのことを学び、自分らしい生き方を応援されることで、こうありがたい自分を創り上げていくことが分かっています。

そうは言っても、「いじめ」を経験した人は、親以外の人からも否定されたので、心の傷はあまりに深くてどうしようもないと思うかも。まずは、そんな大変な苦しい状況を生き延びた自分（一番つらかった頃の自分）を心からねぎらってあげましょう。「大変だったね。よく頑張ったね」と。大切な誰かを優しくねぎらうように、自分を思いきり抱きしめてあげることです。そして「とりあえず」今の自分をよしとすることから新しい一歩が始まります。

(女性問題相談員 正井禮子)

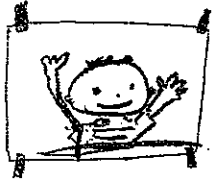




三木市男女共同参画センター

「親子で絵本カフェ」の スタッフさんを紹介します

平成18年から毎年実施している「絵本カフェ」は、親子で協力してお菓子づくりを楽しみ一緒においしく食べた後、それにまつわる絵本を読



んでもらうというもの。この大人気のセミナーで、お菓子作りの下準備、作り方指導、手遊び、選び抜かれた絵本の紹介や読み聞かせ・紙芝居などをしてくださっている「絵本カフェ」のスタッフさんにお話をうかがいました。明るくにこやかな3人のメンバー、藤原さん、吉野さん、庄司さんは、子どもや絵本が大好きで、このセミナー以外にも絵本の読み聞かせや子育て支援にかかわる様々なボランティアをされており、参加者には顔なじみの方もいらっしゃるようです。

代表の藤原さんは、「毎回準備には苦労しますが、子ども達の真剣な目つき、満足そうな顔、楽しそうな親子の会話やおいしそうに食べる顔を見るのが嬉しい」また「親子で絵本にふれあって欲しい。そのきっかけづくりや、本選びの参考にしてください」とおっしゃいます。大人にとっても絵本を読んでもらうのは楽しいもの。「とにかくこの時間は子どもと楽しんで欲しい」とのこと。色々準備が大変だと思いますが、親にとってもゆったりとした気持ちで子どもとふれあえるセミナーを、これからもよろしくお願ひします。



利用しませんか! 図書情報コーナー

図書コーナーの本は、1人2冊まで貸し出ししています。

男女共同参画センター内にある図書コーナーをご存知ですか?

知らない人も多いと思うので、ご紹介しますね。実は、新刊やベストセラーも待たずに読めるとひそかにリピーターの方も多いいんですよ。場所は教育センター3階です。児童センターにはよく行くけど~と言う方は同じ建物の3階なので、のぞいてみてください。お子様向けの絵本も置いています。テーブルもあるので、個人やグループの交流・情報交換の場としてもご利用ください。予約なしで自由に使えます。

~新着図書紹介~

- ・宇宙飛行士になる勉強法
- ・農家が教える自給エネルギー
- ・風が笑えば
- ・子どもと楽しむ山歩き
- ・かわいいマスクがいっぱい! かんたん手作りマスク
- ・だれでも簡単、すぐできる! 50℃洗い驚異の調理法とおいしいレシピ 等



蔵書約2600冊

三木市男女共同参画センター

(愛称こらぼーよ)

〒673-0433 三木市福井 1933-12

(三木市立教育センター3F)

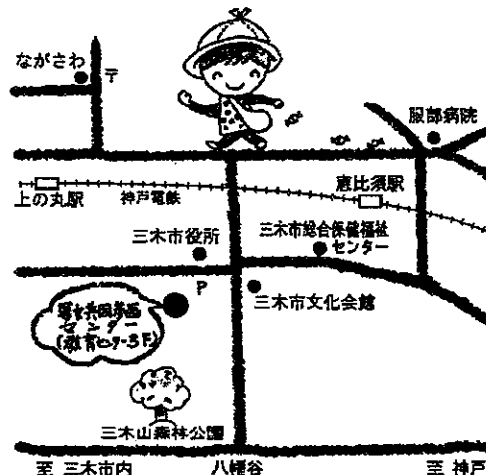
TEL&FAX 0794-89-2331

開館時間 9:00~17:00

休館日 月曜・第4日曜・祝日・年末年始

E-mail: jinken@city.niki.lg.jp

ホームページや広報みきもご覧ください



編集後記

春になると新しいことにチャレンジしたくなりませんか? 私は、趣味の検定取得に向けて猛勉強してレベルアップしたいです。

編集委員 Y

企画編集:

情報誌こらぼーよ編集グループ

発行:

三木市男女共同参画センター

神鉄恵比須駅から徒歩10分、市役所前バス停からすぐ。